

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1410	報告者	後藤隆徳
年月日	2010年5月2日(日)～4日(火)	2万5千	須走・印野
山名	佐渡・尻高山(934m)・金北山(1172m)		
3日	体力度=4・やや厳しい	技術度=3・普通	道標=ある 駐車場=ある トイレ=ない 展望度=よい 三角点名=金北山 等級=二等
花・雪・風の縦走			
コース とタイム	3日=宿発5:40-横山登山口発6:05-神子岩8:20-金北山9:40-石花越分岐点13:30-カレー清水13:50-平城畑15:10-石花登山口着15:40-願(ねがい) 民宿		
標高差	上り 横山登山口約180m～金北山1172m=約992m 下り 金北山1172m～石花(いしげ)登山口約300m=約872m		
参加者	L後藤隆徳(63)、ほか全26名		



2日=佐渡に渡るのに新潟・直江津港があるが、後者を選ぶ。9:30発のフェリーに間に合わないと計画は全て泡と化すので、裾野を2時出発。お陰で7:30に着きひと安心。港の「海藻ラーメン」が美味しかった。

2時間半のフェリーは快適だった。佐渡が近くなると洋上に真っ白な「佐渡アルプス」が遠望出来た。小木港から両津に向かい「青粘(あおねば)登山口」に着き13:50登山開始。

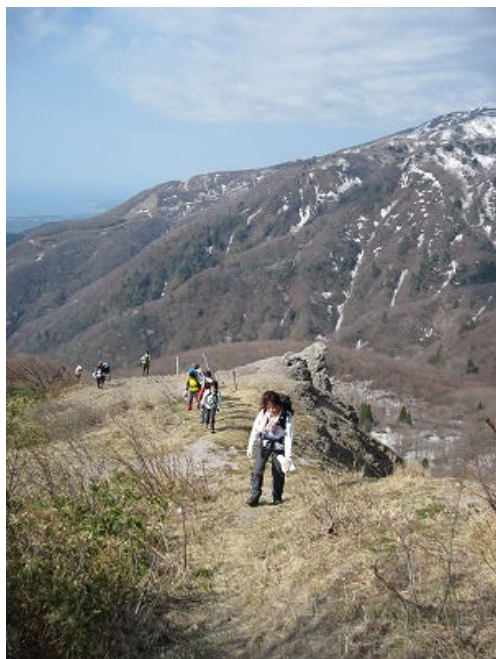
天気は快晴高温。最初から花の楽園だった。余りの花々に歩は中々進まない。早春の節分草・福寿草も見られた。

十字路からドンデン高原を経て尻立山に上る。この山名は資料によっては尻高山になっている

が、2万5千円に山名表示はない。ここはモーレツな風が吹く。佐渡は風の山でもある。ドンデン山荘17:00着。ここでバスに乗り両津・住吉温泉「寿月旅館」に向かう。湯はアルカリ系で24時間入れる温泉だった。

3日=前日下見を済ませた横山登山口に向かう。ここの標高は180mしかないので千m近い標高差を楽しめる。のんびりB隊は防衛庁の管理道路から金北山に向かった。下部は藪っぽかったが標高500m付近からブナが出て来た。今日も天気は良く気持ち良い。途中に湿原があり座禅草・水芭蕉が盛んだった。

この山は片栗の山だった。昨年の新潟・銚ヶ岳も凄かったがここも半端でない。登山道に延々と咲き続けている。神子岩・天狗岩と左に大きな岩壁が見える。この辺は三角草が素晴らしかった。標高が高いので丁度今が盛りで、最高の色を出している。頭上左に金北山のレーダードームが見えた。B隊と無線でやり取り。風が強いので先行して貰う。



天狗岩付近の厳しい上り（風強い）



素晴らしい花々



後ろは金北山

雪稜を辿り金北山着。情報では頂上ドーム付近は入れないだったが、全く問題なかった。ここには大きな金北山神社が祀ってある。ここから長い縦走路をたどり、石花（いしげ）分岐に着き石花集落に下る。ここも素晴らしい花が続いた。ただ、雪の平坦地が多く、ルートは分かりにくく難しい。

登山口でバスの人となり今日の宿、願地区に向かう。下界は田植えが盛んだった。

4日＝民宿の夕食は食べきれなかった。朝食前に「大野亀」（167m）を上りに行く。ここは6月「萱草（かんぞう）」祭が開催される地。近くには「小亀」もある。この後、朱鷺センター・妙宣寺・造り酒屋で遊び11：30のフェリーで帰静する。

山・雪・花・温泉・料理・酒・人情と大いに満足する山旅だった。

大野亀

